

今回、新型コロナウイルス感染症のことを通して、ラジオで何気なく聞いていた「重要なテーマと曖昧さが続くと、人はそういう噂を広げてしまいたくなる心理が働く」という言葉を思い出しました。そういう噂とは、【新型コロナウイルスが 26.0℃のお湯で死滅する。】と SNS 上で拡散されたことです。まさかそんなこと信じないでしょうと冷静になると誰もが思うような内容(人間の体温がだいたい 36.0℃くらい。つまり体内にウイルスが入った途端、死滅するということになる)ですが、実際にはそうではなかったというのです。

新型コロナウイルス感染症予防という重要なテーマが、まだ、わからないことも多く曖昧さが続いたために拡散しやすい心理状態を招いたということになります。しかしなぜ、こういう事態になるのでしょうか。それは次のようなことが考えられるようです。

- ① SNS は拡散することが簡単。
- ② お金を儲けようとする人たちもいる。
- ③ 良いことが指先だけでお手軽にできる。(拡散する本人は、この情報が良いものだと思っている。)

今回、新型コロナウイルス感染症について、この他にも多くのデマが拡散されたと聞きます。そのことで特定の人を傷つけたり、差別的な情報や言葉もあったとも言われます。誰もが経験していない新型のウイルスということで重症化とか致死率などの言葉が先行して不安だけが一人歩きしているのかもしれない。みんな社会のそれぞれの役割の中で、必死に最善を尽くそうとしているのです。思いやりをもって、感謝の気持ちを忘れない私たちでありたいと思います。さて、感染症はまたいつか新しい型が出てきて、私たちの生活に影響をもたらします。この機会を一つの学びの時と捉えて、感染症リテラシーを高めていきましょう。

リテラシーとは、現代は特定の分野の知識という意味で使われます。もう少し詳しく言うと「ある特定分野の事象や情報を正しく理解・分析・整理し、それを自分の言葉で表現したり、判断する能力」を指します。

2月29日にWHO(世界保健機関)などの専門家チームが行った共同調査の報告書が報告され、新型コロナウイルス感染症(中国で感染が確認された5万5924人のデータ)の症状の特徴・致死率など詳しい分析を明らかにしました。

- ① 感染者からみられた症状は、▽発熱 87.9% ▽せき 67.7% ▽けん怠感 38.1% ▽たん 33.4% ▽息切れ 18.6% ▽のどの痛み 13.9% ▽頭痛 13.6%
- ② 症状が出るのは平均で5日から6日後。
- ③ 症状の重症度とリスクが高い人
 - ・感染者のおよそ80%は症状が比較的軽く、肺炎の症状がみられない場合もあった。呼吸困難などを伴う重症患者は全体の13.8%、呼吸器の不全や敗血症、多臓器不全など命に関わる重篤な症状の患者は6.1%。
 - ・重症や死亡のリスクが高いのは60歳を超えた人や高血圧や糖尿病、それに、循環器や、慢性の呼吸器の病気、がんなどの持病のある人。
- ④ 子どもの感染状況や状態など
 - ・感染例は少なく、症状も比較的軽いということで、19歳未満の感染者は全体の2.4%にとどまっています。重症化する人はごくわずか。
 - ・子どもの感染について、家庭内での濃厚接触者を調べる過程で見つかったとしたうえで、調査チームが聞き取りを行った範囲では、子どもから大人に感染したと話す人はいなかったと指摘。
- ⑤ 致死率
 - ・5万5924人の感染者のうち死亡したのは2114人で、全体の致死率は3.8%。
 - ・致死率は高齢になるほど高く、80歳を超えた感染者の致死率は21.9%と5人に1人に上っています。

特に、合併症の患者は致死率が高く、▽循環器の病気がある人 13.2 %▽糖尿病 9.2 %▽高血圧 8.4 %▽慢性の呼吸器の病気 8.0 %▽がんが³7.6 %

・また、感染拡大が最も深刻な湖北省武漢は、致死率が 5.8 %なのに対し、その他の地域では、0.7 %と大きな差が出ています。

・さらに、こし1月1日から 10 日までに発病した患者の致死率は 17.3 %となっているのに対し、2月1日以降に発病した患者の致死率は 0.7 %と低く、感染拡大に伴って医療水準が向上した結果だと分析。

以上のことから

これまで通り、基本的な予防に一人一人が心がけ、さらに社会には重症や死亡のリスクが高い人がいることを忘れず予防や健康観察に努めましょう。また、**厚労省から【密閉空間など換気が悪く、人が密に集まって過ごすような場所が集団感染の共通点】と判断されました。家庭でも定期的に換気をし、そのような場所へ行くことはできるかぎり避けるようにしましょう。**

休校中も次のようにお願いします。

・発熱等の風邪の症状が出た場合には、**集団感染しやすい場、公共の場**にでることは避け、**自宅で療養**してください。

・発熱等の風邪症状が見られたら、**毎日、体温を測定して記録しておく**ようにしましょう。

・**家族(同居)一人がが発熱した場合も、その日から体温を測定して健康観察に努めてください。ご家族に感染すると重症化する恐れがある人は、特に注意して健康観察をしてください。**

ご家族、同居されている方は、既に感染している可能性もあります。感染者の症状が軽快してから 14 日間経過するまでは、健康状態を監視することをお勧めします。職場や学校に行く時など外出する際はマスクを着用し、こまめに手を洗ってください。厚労省 HP より

新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項

詳しくは厚労省 HP を参考に

- 1.感染者と他の同居者の部屋を可能な限り分ける。
- 2.感染者の世話をする人は、できるだけ限られた方(一人が望ましい)にする。
- 3.できるだけ全員がマスクを使用する。
- 4.小まめにうがい、手洗いをする。
- 5.日中はできるだけ換気をする。
- 6.取っ手、ノブなどの共用する部分を消毒する。
- 7.汚れたリネン、衣服を洗濯する。
- 8.ゴミは密閉して捨てる。

◇以下のような場合には、決して我慢することなく、直ちに都道府県に設置されている「帰国者・接触者相談センター」にご相談下さい。

○風邪の症状や 37.5 °C 以上の発熱が4日以上続いている。

(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

○強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

◇休校中に、新型コロナウイルスに感染した場合は、学校への連絡をお願いします。

3月23日までは月曜日から金曜日の17時までにご連絡ください。24日からは春休みとなりますので、16時までといたします。

◇裏面に休校中の健康観察表を印刷しておきます。(山梨英和のHPからもダウンロードできます。)

・新型コロナウイルスに感染した、あるいは感染の疑いとなった場合は、行動(いつ、どこで、誰と)などを質問されることも考えられます。行動の記録の欄も設けてあります。ご活用ください。

2月21日の保健だより:咳エチケットについて

訂正 ハンカチもなかったら(口を)手で覆う→**上着の内側や袖(そで)で覆う**。手で覆いたくなくなってしまいますが、その場合は特に人の方を向かない、その手をすぐに洗うなどが必要になってきますので推奨していません。申し訳ありませんでした。

